

テ ー マ 「IFRS概念フレームワーク」から見る
財務報告の今後

講 師 し み ず や す ひ ろ
清水 泰洋 氏

神戸大学大学院経営学研究科 准教授

日 時 平成 22 年 10 月 21 日 (木) 16:00~17:30 (受付開始 15:30)

会 場 名古屋銀行協会 201 会議室 (名古屋市中区丸の内 2-4-2) [地図](#)

参加料 無 料 : ① 日本証券アナリスト協会
検定会員 (CMA)、国際公認投資アナリスト (CIIA)、
一般会員 (当協会個人会員)、法人・賛助会員の役職員、
検定会員補 (CCMA)、通信教育講座受講者、IR クラブメンバー、大学生
② 共済・後援団体
日本証券業協会会員の役職員、(株)名古屋証券取引所上場会社の役職員

1,000 円 (消費税込) : 上記以外の方。当日会場にてお支払下さい。

共催団体 : 日本証券業協会、後援団体 : (株)名古屋証券取引所

申込方法 <ホームページからお申込みの方>

お申込みは [こちらをクリック](#) し、該当講演会の「受付中」をクリックして下さい。
参加申し込み完了メールを「参加証」として印刷し、当日受付に提出して下さい。
[マイページ登録 \(ID・パスワード取得者\)](#) している方は、[マイページからお申込み下さい](#)。

<FAX でお申込みの方>

ホームページからプリントアウトした申込フォームに記入し、協会事務局あて FAX し
て下さい。当日は FAX 済用紙を受付に提出して下さい。

問合せ先 : 日本証券アナリスト協会

FAX 03-5640-4529 TEL 03-3666-1515

平成 22 年 10 月 14 日 (木) までにお申込み下さい。

わが国でも IFRS(国際会計基準)の採用に向けた検討が進んでおり、その動向や内容は証券アナリストにと
って極めて重要となっています。こうした中、神戸大学大学院経営学研究科 准教授の清水泰洋氏を講師にお
迎えして、次のようなお話をさせていただきます。

『IFRS は収益認識基準やのれんの償却問題など個別の基準の会計処理で論じられることが多いが、その背
後にあるのは「概念フレームワーク」です。現行のフレームワークと修正の草案を手掛かりに、IFRS の目指
す財務報告と今後の姿、および日本の会計基準との相違について論じます。』

◆講師略歴◆

清水 泰洋 氏

1995 年神戸大学経営学部卒業、2000 年神戸大学大学院経営学研究科修了、同年同研究科助教授、2007 年
同研究科准教授。著書に『アメリカの暖簾会計－理論・制度・実務－』(中央経済社)。